

作者について



杉^{すぎ}みき子^こ (一九三〇—)

杉みき子さんは、児童文学の作家です。新潟^{にいがた}県に生まれ、現在もそこで暮^くらしています。

雪国^ぶを舞台に、そこに生きる人々の喜びや悲しみを書いています。

他の作品



他の作品には、『かくまきの歌』(村^{むら}山^{やま}陽^{よう}／画、童^{どう}心^{しん}社^{しゃ})、『小さな雪の町の物語』(佐^さ藤^{とう}忠^{ちゆう}良^{りよう}／画、童^{どう}心^{しん}社^{しゃ})、『わらぐつのなかの神様』(加^か藤^{とう}美^み紀^き／絵、宮^{みや}川^{かわ}健^{けん}郎^{らう}／編、岩^{いわ}崎^{さき}書店) などがあります。

